

令和6年度 菊川病院事務部 重点施策の実施結果

達成
状況

S … 目標を上回る結果となった
A … 目標通り達成した
B … 達成したが課題が残っている
C … 達成できなかった

総 括	・省エネ対策によるコスト削減に取り組みましたが、夏場の猛暑や入院患者数の増加により、前年実績に対する使用電力量の削減の目標は達成できませんでした。今後も省エネ対策には継続して取り組みを進めます。 ・勤務医の負担軽減を目的として、医師事務作業補助者を追加で配置する等、負担軽減策に努めた結果、医師1人当たりの時間外・休日労働時間を基準である年間960時間以内とする目標を達成しました。 ・次年度のシステム更新に向けたスケジュール表を作成しました。今後、仕様書の作成等、円滑なシステム更新に努めます。 ・地域への積極的な情報発信に取り組みました。今後も関係部署と連携を図り、市民が求める情報の配信に努めます。 ・研修医の確保に向けて積極的にリクルート活動を進めた結果、6名の研修医から応募がありましたが、最終採用に至った研修医は2名に留まり、目標の3名の確保には至りませんでした。今後も地域医療の確保のため、取り組みは継続していきます。 ・中期計画に掲げた8つの重点課題の解決に向け、組織横断的に取り組みを進めましたが、最終的な改善結果となる数値目標の達成には至りませんでした。今後も医療収支比率の向上を目指し、経営改善に向けた取り組みの推進に努めます。 ・診療報酬点数改定に伴い、内容を精査のうえ、新たに算定が可能な点数等に関する施設基準の届出及びシステム設定を行いました。
-----	---

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
1	省エネルギー対策 とコストの削減 (総務課)	引き続き院内照明器具のLED照明への改修を行い、使用電力の削減を進めます。 また、建物内の空調設備の最適化及び、職員への節電の取り組みの重要性の周知を行い、エネルギーの無駄を減らす取り組みを進めます。 診療材料の調達において、引き続き粘り強く材料供給業者との交渉を通じて、コスト削減を図るとともに、地域共同購入等の新たな価格削減手法について検討を進めます。	節電の取り組みを行い、使用電力量を前年比3%削減します。また、診療衛生材料の価格交渉を行い、診療衛生材料費予算1%分(526万円)の価格削減効果※を捻出します。 ※価格削減効果 価格削減額×年間使用見込数	C	診療衛生材料費については、約608万円の削減効果を捻出し、目標を達成することができました。 使用電力量については前年比約2.1%増となり、目標としていた前年比3%削減は達成できませんでした。令和6年度は酷暑が長く続いたことに加え、夏期に冷温水発生機が故障したことや、入院患者延数が前年比2.8%増と、通年で電気の使用量が増えたことが要因です。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成状況	実施結果
2	働き方改革の推進とタスク・シフト/シェアのための人材育成・確保 (総務課)	令和5年度に引き続き、毎月の時間外の把握に努め、医師の健康を確保し、医療の質・安全の確保に取り組めます。また、各種の専門性を活かして患者様により質の高い医療を提供するタスク・シフト/シェアを推進するため、業務の代行補助を行えるよう、人材育成と確保に取り組めます。	業務の代行補助を行えるよう、採用計画を基に、医師事務作業補助者、看護補助者の人材確保を行います。また、医師の一人当たりの時間外・休日労働時間を年間960時間以内とします。	A	医師事務作業補助者を1名追加配置し、4名体制としたことで、医師の書類作成業務等の負担軽減に繋がりました。 また、看護補助者については、外国人特定技能制度（介護分野）を利用し、令和7年9月を目処に2名の人材を確保することが決まり、慢性的な看護補助者の不足を解消することが期待されます。 医師の一人当たりの時間外・休日労働時間については、年間960時間以内となりました。
3	公営企業会計システム更新の検討 (経営企画課)	機器及びシステムの更新により、老朽化に伴うリスクを軽減させるとともに、現行システムの機能仕様を基準としつつ、標準的なパッケージソフト及び標準化された技術等を活用し、カスタマイズを最小限に抑えた最新システムの導入により経費の抑制及び業務最適化を図ります。	最適機器及びシステムを選定し、システム更新に係るスケジュール表を作成します。	A	令和7年10月の更新に向けたスケジュール表の作成を行い、予算入力等の業務に支障をきたさないよう更新準備を進めております。 今後は仕様書の作成や業者選定等を行い、円滑なシステム更新に努めます。
4	地域への積極的な情報発信 (経営企画課)	院内の広報活動に係わる委員と連携しながらホスピア増刊号やポスター等を作成・配布し、地域住民や施設に対して、健康啓発や菊川病院の事業について積極的に発信します。	病院広報紙ホスピアの定期発行、ポスターの作成により、健康啓発に取り組めます。	A	令和6年度は、情報発信を140回行いました。 きくがわ病院だより「HOSPIA」への情報掲載や市公式SNSを活用した情報の発信を定期的の実施し、市民への周知を図りました。 今後も関係部署と連携を図りながら、市民が求める情報を配信できるように努めます。
5	家庭医の招聘 (経営企画課)	静岡家庭医養成協議会で家庭医の招聘を進め、その定着を推進します。	令和7年度採用研修医をサイト全体で3名以上確保します。 (令和6年度4月1日採用実績：4名)	C	静岡家庭医養成プログラムには6名の応募がありましたが、合格後、自己都合による辞退等もあったため、最終的な静岡家庭医養成協議会の研修医採用実績は2名となり、目標の3名を達成することができませんでした。 今後も、見学者の対応やリクルート活動を積極的に行い、家庭医の招聘に努めてまいります。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
6	経営強化プランの 推進 (経営企画課)	①高齢者の入院受け入れ体制の強化、 ②外来診療の充実及び病診連携の推進、 ③整形外科領域の強化、④チーム医療の 推進、⑤先制医療、在宅療養、在宅復帰 支援の推進、⑥精神障がい者の支援体制 の充実、⑦組織開発の促進と人材確保、 ⑧組織体制の見直しと業務改革・コスト 削減の8つの重点課題に取り組めます。	病床稼働率を72.7%以 上、修正医業収支比率を 87.8%以上とします。	C	第5次中期計画で掲げた8つの重点課題の解決に 向け、院長を始めとする経営層の職員による中期計 画推進会議を開催すると共に、内科の紹介状制度の 見直しや産科分娩停止の検討等、経営改善に向けた 様々な取り組みについて検討を行いました。 入院と外来を合わせた収益については、前年度と 比べ約2億5千万円の増収となりましたが、昨今の 人件費の増加や物価高騰の影響を受け、令和6年度 については修正医業収支比率84.3%（見込）とな り、病床稼働率についても71.7%と目標達成には至 りませんでした。 今後も医療収支比率の向上を目指し、経営改善に 向けた取り組みの推進に努めます。
7	診療報酬請求事務 の適正化 (医事 課)	院内関係部署に情報を提供し、必要に 応じて体制を整え、適切に施設基準の届 け出を行います。	令和6年6月の期限日ま でに新規・変更のある項 目の点検を行い、施設基 準の届出を完了します。 また、経過措置等の届出 項目は、基準日までに点 検を行い、施設基準の届 出及びシステム設定を完 了します。	A	診療報酬の改定に伴い、改定内容を確認し当院に該 当する基本診療料8項目、特掲診療料6項目につい て、施設基準の届出を行うとともに点数や算定要件 の変更に対応するため、システム設定等を行い運用 を構築しました。 また、経過措置となっている掲示事項のweb掲載に対 応しました。